

# 本校の繁殖雌牛の交配計画検討会

動物科学科 養牛専攻

本校の繁殖牛の交配計画検討会を実施しました（検討会の2回目は1人ずつ発表）。

今年度、人工授精をし、来年度に子牛が生まれます。生まれてから枝肉として出荷するまで30ヶ月かかります。繁殖雌牛の特徴を把握し、どの種雄牛を交配して子牛を後輩たちに託すのか検討しています。

## 人工授精をする種雄牛の検討をするため考えたことの一例

- 繁殖牛の欠点を考えて、補うことができる種雄牛は？
- 牛肉として高く販売できる部位が多くなる牛がよいのか？
- 子牛市場で人気のある種雄牛を使うことがよいのか？
- 食べた時に美味しい牛肉にしたい？
- 病気になるリスクが低くなったほうがよい？
- 雌が生まれたら、次の繁殖後継牛として学校で飼育していくためには？



3年 養牛専攻生 全員

持ち時間2分で発表

検討会：令和4年9月7日（水）

## 交配計画検討会の感想

学校の繁殖牛の特徴を把握し、岐阜県の種雄牛の特徴を調べるだけではなく、今後、生まれてくる子牛の性別や娘牛が生まれたら、次の繁殖牛として飼育する場合の課題の検討など私たちが卒業してから5年後までのビジョンがなければ発表原稿ができませんでした。たいへんでした。

